早稲田キャリア研究会
第一期活動報告書

2022-2023
ANNUAL REPORT



目次

1	総務	3
1.1	代表ご挨拶	4
1.2	総務プロフィール	5
2	活動方針	6
2.1	ミッション	7
2.2	3つの柱と6つの活動	8
3	設立1年の総括	9
3.1	主な出来事	10
3.2	活動サマリ	11
4	成果と進捗	12
4.1	成果(内部活動)	13
4.2	成果(対外活動)	17
4.3	進捗	20
5	次期総務	21
5.1	次期代表ご挨拶	22
5.2	次期総務プロフィール	23
6	次年度目標	25
6.1	大目標	26
6.2	成果目標	27
6.3	バリュー	28
7	今後の取り組み	29
7.1	講座	30
7.2	局制度	31
7.3	CVM in Tokyo構想	33
8	その他	34
8.1	会計報告	35
8.2	会員インタビュー	36
8.3	会員名簿	38
9	後援・協賛・賛助・協力	39

©WASEDA CAREER SOCIETY ALL RIGHTS RESERVED

早稲田キャリア研究会活動報告書

1. 総務



早稲田キャリア研究会
Waseda Career Society



1.1 代表ご挨拶

「現在の大学生は全てが中途半端ではないか？」

大学2年次にスタートアップ企業で働き、多くの社会人と接する中で、現在の就活市場、ことキャリア選択における大学生の行動に疑念を抱き始めた。4年間の大学生活は、勉強や部活などの自分のやりたいことに没頭することができる非常に貴重な時間である。しかしながら、大抵の場合、就職活動が大学3年次より始まり、やりたいことに没頭するか、就活市場における自身の価値を向上させるかのジレンマに陥ることになる。この板挟みの結果、大学生は全てが中途半端に終わってしまう。

「私たちに何ができるのか？」

「個」が尊重され、多様な価値観が受容されるようになってきた現代。キャリアの選択肢は人の数あるはずである。我が国では過度に社会通念に照らして判断することが良しとされるが、生き方、社会人の文脈で言えば即ちキャリア選択において、個人は自由である。状況に応じて都度、柔軟に生き方を変容させ、限られた100年間を生きなければならない。

社会に出たことがない、学生である私たちには、本報告書で後述する活動を通して、自分自身と向き合い、理解する手助けをすることくらいしかできない。しかしながら、少しでも多くの生き方を知ることによって、個人が「常識」から解放され、キャリア選択において自由であると気付くことさえできれば、それこそが弊団体の価値である。こうして、「学生が納得したキャリアを選ぶために、キャリアの選択肢を増やすという」ミッションの下、早稲田キャリア研究会は発足した。発足当初に数人の仲間と重ねた議論は枚挙にいとまがなく、かけがいがない。結果として、初年度は新歓活動を通して42人の会員を集めた。様々ではあるが、各々が実現したいキャリアに近付くこと、もしくはそれを見出すことが所属する目的である。実現したいキャリアは、まさに42人42色であり、お金や家族との時間等、個性が見られ、非常に興味深い。

振り返ると、帰属意識やコミュニケーションの困難さなど、コロナ禍にも起因する様々な制限により、全てが順調であったとは言えない。しかしながら、対面の活動を重視したプロジェクト型講座や内外でのイベントの実施により、コミュニティ機能の向上は図られた。更には、様々なご縁により協賛関係やイベントなどで親身にお付き合いいただいた企業の皆様のおかげで、メディアへの出演や前例のないキャリアイベントの開催など、数多くの経験ができた。会員と共に団体として、個人として成長できたことを嬉しく思う。

本報告書は、弊団体の存在意義や活動結果について、様々な報告事項に今の私たちの答えを込めたものである。項目のひとつひとつから、皆様にとっての「早稲田キャリア研究会」の価値を感じ取っていただければと考えている。

最後に、発足初年度のの活動に際して多大なるご協力を頂いた企業の皆様、イベントにご参加頂いた皆様、その他様々な形でご支援・ご協力頂いた皆様、そして会員の皆様、早稲田キャリア研究会の代表として、ここに第1期活動終了の報告をさせていただきます。弊団体へご協力いただきましたこと、心より感謝申し上げます。第2期も引き続きよろしくお願いいたします。

早稲田キャリア研究会 代表
青木悠真

©WASEDA CAREER SOCIETY ALL RIGHTS RESERVED

1.2 総務プロフィール



代表

青木悠真

2021年12月に自身で立ち上げた少人数のコミュニティPEPsを母体に発足した、早稲田キャリア研究会で初代代表を務める。教育系プラットフォーム事業を展開するベンチャーで長期インターンを経験。採用からプロデュース、アクションプラン策定までの幅広い領域に従事した。現在は友人と起業し、「UGCメディアプラットフォームUbiq」を運営する株式会社UbiqのCOOを務める傍ら、日本のキャリア選択に変革を起こすべく、株式会社F1rstの設立に向けた準備中



副代表

林詩音

日米学生会議(1934年創設の日本最古の国際的学生プログラム)とOVAL(日中韓三カ国の大学生を対象にビジコンを運営する団体)、二つの国際交流系の学生団体に所属。 新規事業開発特化のコンサルファームであるJenerate Partners株式会社にて、1年以上の長期インターンシップを経験。過去、日系大手企業の海外進出に向けた市場リサーチや電子帳簿保存法対応ソリューションの開発支援、国内大手小売事業者への新規事業コンサルなどに従事。また、日本放送協会で「あさイチ」の制作に学生アルバイトとして関わった経験もある。現在、税理士資格取得に向け勉強中。 実用英語技能検定1級,TOEIC L&R 960,日商簿記2級



会計

金本晃司朗

代表取締役社長として、自身が立ち上げたオンライン家庭教師塾を運営する株式会社e-moerの経営を担う。高校生の頃から株式投資に取り組み、起業する際の資本金は株式投資の利益によって生み出した。現在は青木と共に株式会社F1rst設立の準備をしている。その他にも、家業がファッション業界に携わっているというバックグラウンドを活かし、アパレルブランド「JOEKR」を設立。主にシルバージュエリー製品を作成中

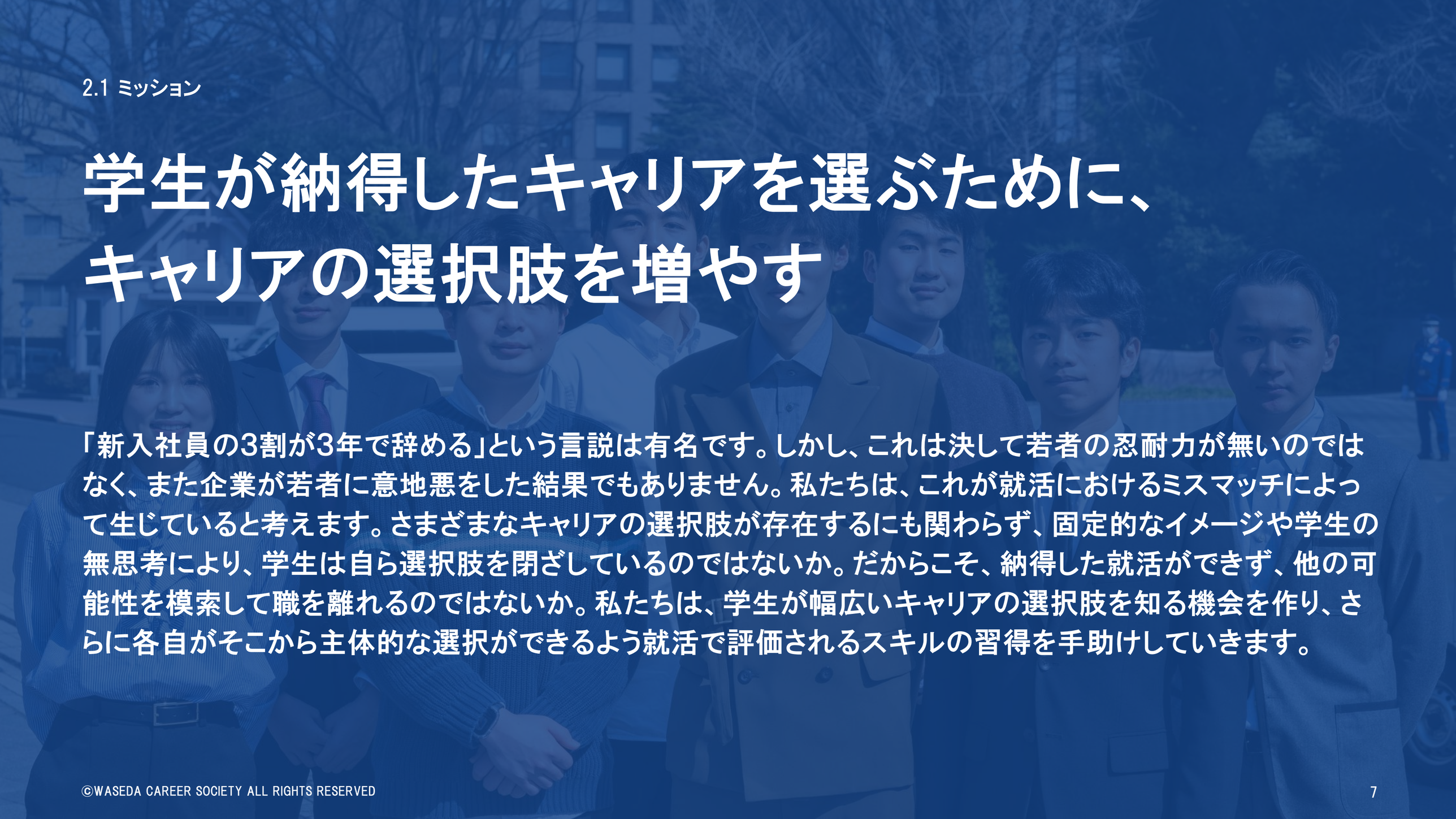
©WASEDA CAREER SOCIETY ALL RIGHTS RESERVED

2. 活動方針



早稲田キャリア研究会
Waseda Career Society

学生が納得したキャリアを選ぶために、キャリアの選択肢を増やす



「新入社員の3割が3年で辞める」という言説は有名です。しかし、これは決して若者の忍耐力が無いのではなく、また企業が若者に意地悪をした結果でもありません。私たちは、これが就活におけるミスマッチによって生じていると考えます。さまざまなキャリアの選択肢が存在するにも関わらず、固定的なイメージや学生の無思考により、学生は自ら選択肢を閉ざしているのではないか。だからこそ、納得した就活ができず、他の可能性を模索して職を離れるのではないか。私たちは、学生が幅広いキャリアの選択肢を知る機会を作り、さらに各自がそこから主体的な選択ができるよう就活で評価されるスキルの習得を手助けしていきます。

©WASEDA CAREER SOCIETY ALL RIGHTS RESERVED

2.2 3つの柱と6つの活動

ミッション達成のため、早稲田キャリア研究会の活動として「3つの柱」を定義
さらにそれぞれの柱を実現するために、団体として「6つの活動」に取り組む

抽象 → 具体

ミッション

3つの柱

❶ 選択肢を内部との交流を通じて知る

❷ 選択肢を外部との交流を通じて知る

❸ 選べる選択肢を増やすためにスキルを高める

実現のための6つの活動

①団体内交流の促進
夏・冬の合宿や有志による旅行等、会員間の親睦を深めるイベントを充実させる

②キャリア情報の共有コミュニティ
就活やビジネスに関する情報を共有・相談できるコミュニティ機能を充実させる

③企業との共同イベント開催
経営者交流会やキャリアイベントの共催を通じて、団体と社会の接点を生み出す

④対外キャリアイベント開催
対外的なキャリアイベントを主催し、学生と企業の接点を広く生み出す

⑤講座運営
社会で必須となる知識やスキルを獲得するための講座を開催する

⑥企業との共同プロジェクト
協賛企業と共同でビジネス上の問題に取り組むプロジェクトを実施する

©WASEDA CAREER SOCIETY ALL RIGHTS RESERVED

3. 活動1年の統括



早稲田キャリア研究会
Waseda Career Society

3.1 主な出来事

設立から1年で、組織基盤の整備と対外交流を強力に推進

2021.12 | 2022.3 | 2023.3

設立準備 → **設立1年目**

内部活動

2021.12
青木と林、金本の三人で、PEPs(キャリ研の前身となる社会人基礎力を高めるための勉強会を行う団体)の構想を固める

2022.2
PEPsが正式に発足。簿記・ビジネスケース・財務諸表分析の3講座を開講
同時期、サークル化の検討を開始

2022.3-4
早稲田キャリア研究会が発足
SNS(Twitter,Instagram,公式LINE)を開設
春新歓を経て会員数が34名に

2022.5
キックオフBBQを開催
春学期講座を開始。ビジネスケース・財務諸表分析・最新テック・ベンチャーの4講座を開講

2022.8
夏合宿を開催
任意団体として法人口座を設立

2022.9
秋新歓を経て会員数が42名に

2022.10
秋学期講座を開始。マーケティング&広告・プロジェクト型の2講座を開講

2022.11-12
有志での温泉旅行を実施
クリスマスパーティを開催

2023.2
冬合宿を開催
次期幹部を発表
報告書作成開始

2023.3
春新歓を開始
ホームページ大幅リニューアル

対外活動

2022.9
株式会社マイナビ
マイナビTVのキャリアセミナーへ出演

2022.10
Lifortune株式会社
第1回経営者交流会の共催

2022.12
Lifortune株式会社
第2回経営者交流会の共催

2023.1
株式会社ユーザベース
雑誌Ambitions Vol.2の発売を記念した
キャリアイベントの共催

2023.2
Lifortune株式会社
第3回経営者交流会の共催

©WASEDA CAREER SOCIETY ALL RIGHTS RESERVED

3.2 活動サマリ

設立から1年で、組織基盤の整備と対外交流を強力に推進

内部活動 p.13

1.講座の開催 p.13

春学期に4種類、秋学期に3種類の講座を開講

2.イベントの開催 p.14

公式イベントを5回、有志イベントを2回開催

3.会員数の拡大 p.15

春秋の新歓を経て、42名の会員を獲得

4.SNSやホームページの整備 p.16

Twitter,Instagram,公式ラインを設立し、ホームページも制作

対外活動 p.17

1.株式会社マイナビ p.17

マイナビTVへの出演

2.Lifortune株式会社 p.18

経営者交流会を3回共催

3.株式会社ユーザベース p.19

キャリアイベントの共催

4.株式会社リソー教育 p.19

協賛関係の構築

©WASEDA CAREER SOCIETY ALL RIGHTS RESERVED

4. 成果と進捗



早稲田キャリア研究会
Waseda Career Society

4.1 成果(内部活動)

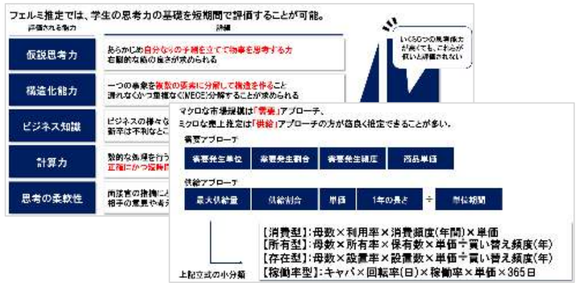
1. 講座の開講

春学期に4種類、秋学期に3種類の講座を開講

春学期

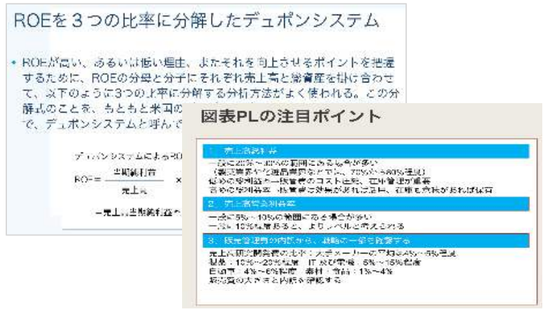
❶ビジネスーケース講座

講座担当：林詩音
コンサルファームや商社の選考過程で課されるビジネスケース面接への対策講座



❷財務諸表講座

講座担当：金本晃司朗
B/S,P/L,C/Fの読み方と基礎的な財務分析を学ぶ講座



❸最新テック勉強会

講座担当：井村駿介
ブロックチェーンやAIなどの最新技術の講座の原理と活用事例を紹介する講座



❹ベンチャー勉強会

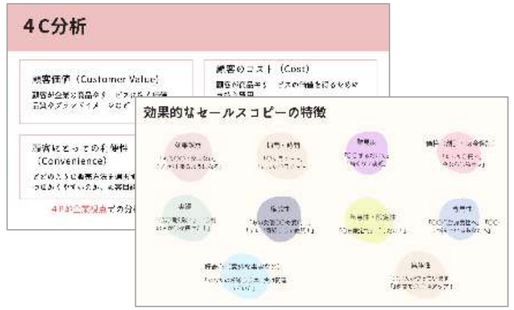
講座担当：青木悠真
注目のユニコーンやVCなどベンチャー企業にまつわる様々な情報を紹介する講座



秋学期

❶マーケティング・広告講座

講座担当：乗物卓杜、石川明日翔
市場の分析方法や様々なプロモーション手法について学ぶ講座



❷業界研究講座

講座担当：林、金本、土屋、江袋、青木
3年生が持ち回りで、それぞれに割り当てられた業界を解説する講座



❸プロジェクト型講座

三つの班に分かれ、SNSのフォロワーや協賛企業の獲得などサークルの運営課題に取り組む内容の講座。モチベーション管理や総務間でのコミュニケーション不足、班同士の競争を過度に煽った結果、講座自体が頓挫してしまう問題が発生。以降、次年度に向けた組織全体の立て直しの必要性を総務内で強く認識。



©WASEDA CAREER SOCIETY ALL RIGHTS RESERVED

2. イベントの開催

公式イベントを5回、有志イベントを2回開催



キックオフBBQ
5月6日 @豊洲



夏合宿
8月6日-8日 @山中湖



温泉旅行
11月27日-28日 @鬼怒川



クリスマスパーティー
12月21日 @西新宿



冬合宿
2月27日-31日 @蓼科



山手線一周マラソン(有志)
6月18日 @山手線沿線



ハリポタカフェ(有志)
11月2日 @赤坂

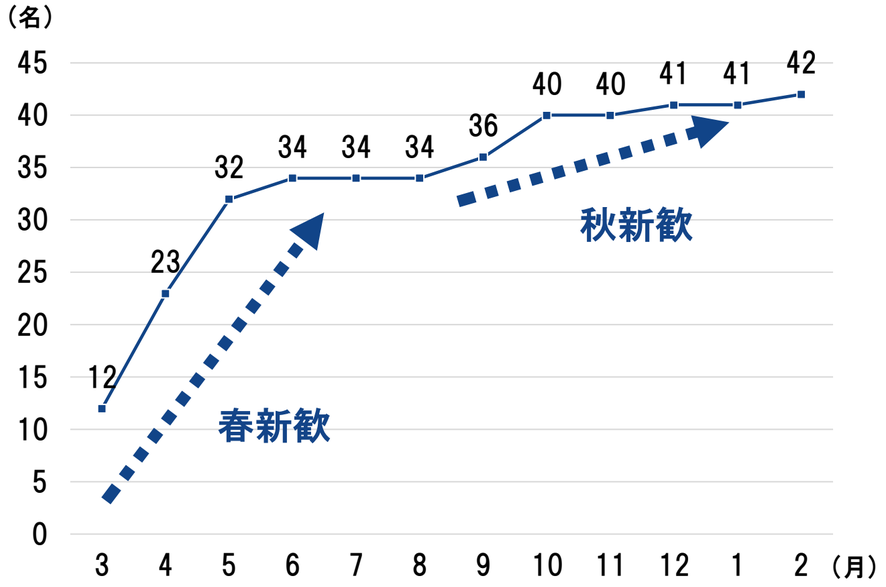
©WASEDA CAREER SOCIETY ALL RIGHTS RESERVED

3. 会員数の拡大

春秋の新歓を経て、42名の会員を獲得

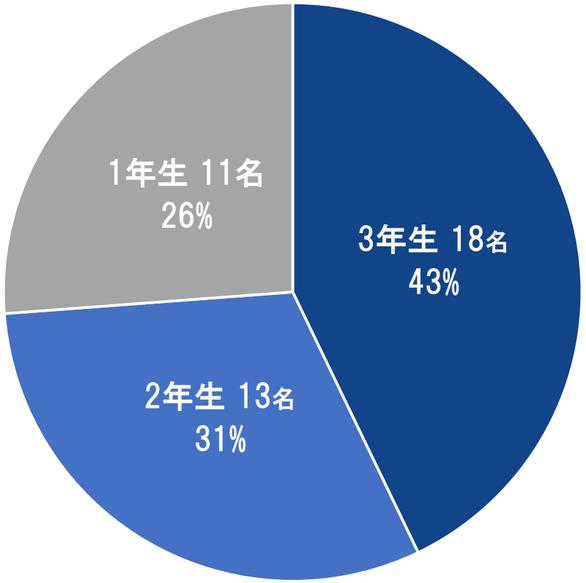
①会員数推移(22年3月～23年2月)

春新歓で34名を獲得。多くの学生がサークル探しの参考にするMilestone(学内総合情報誌)への掲載が叶わなかったにも関わらず、青木を中心にSNS戦略に力を入れた結果、多くの会員の獲得へ繋がった。秋新歓では伸びは鈍化したものの、さらに8名の会員を獲得。



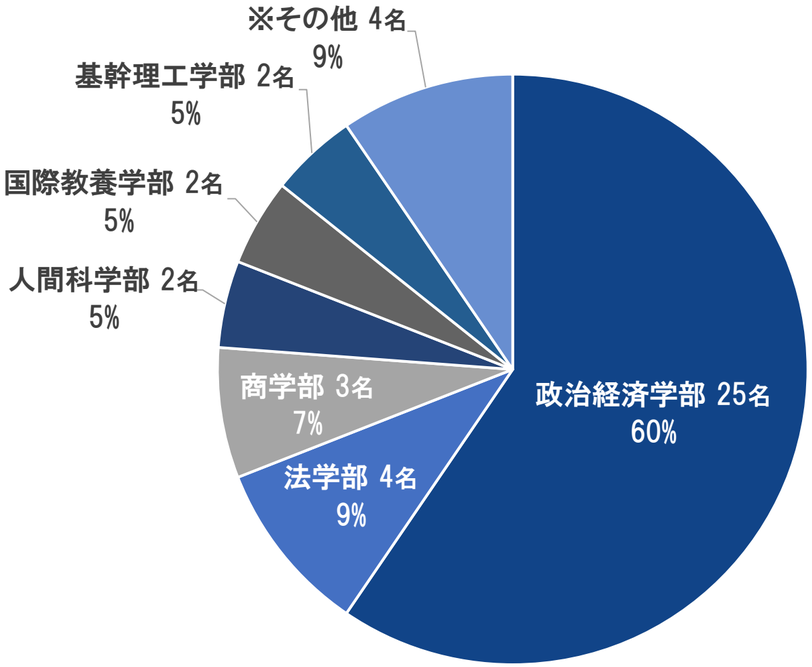
②学年別会員割合

就活に特化したサークルではあるものの、コミュニティ機能を重視した運営を心がけており、就活意識が高い3年生だけでなく、1、2年生も数多く在籍。学年バランスの良い団体となっている。



③学部別会員割合

第1期総務が全員政治経済学部生だったことから、現状は会員の所属学部は政治経済学部が大宗を占める。しかし、次期以降はさらにこれを多様化させるべきという認識。



※その他:社会科学部、教育学部、文学部、文化構想学部、各1名

©WASEDA CAREER SOCIETY ALL RIGHTS RESERVED

4. SNSやホームページの整備

Twitter,Instagram,公式ラインを設立し、ホームページも制作

TwitterとInstagramは主に学生をターゲットに新歓や団体の広報に、公式ラインは入会や各種新歓イベントの参加者募集に活用。
公式ホームページでは理念や活動内容をより詳細に紹介、年次報告書の公開やニュース・ブログの投稿も実施。

①Twitterアカウント



アクセスはこちらから

②Instagramアカウント



アクセスはこちらから

③公式ラインアカウント



アクセスはこちらから

④ホームページ



アクセスはこちらから

©WASEDA CAREER SOCIETY ALL RIGHTS RESERVED

4.2 成果(対外活動)

1.株式会社マイナビ

マイナビTVへの出演

①協賛の経緯、協賛内容

- 22年4月、Twitterでお声がけいただき、そこから数回のお打ち合わせを重ね、マイナビTVへの出演が決定。サークルと共同でのセミナー開催はマイナビ様史上初のこと
- 9月15日、およそ300名の就活生に対し、「財務諸表を活かした就活の進め方」を伝えるウェブセミナーをマイナビTVで開催。代表の青木、副代表の林が講師として登壇
- 講座名:「企業を数字で分析できるようになる！財務諸表の読み解き方講座 ― 就活の企業選定に新しい観点を加えて他の学生と差をつける―」
- 財務諸表(B/S,P/L)の基本的な読み方から、それを就活における企業研究でどう活かすかまでを解説し、バフェットコードを用いて実践
- 他にも、マイナビTV就活準備講座にてESの添削をする企画に弊団体の会員が出演するなど、継続的なお付き合いをさせていただいている

②9月15日マイナビTV出演時の様子









©WASEDA CAREER SOCIETY ALL RIGHTS RESERVED

4.2 成果(対外活動)

2.Lifortune株式会社

経営者交流会を3回共催

①協賛の経緯、協賛内容

- 会計の金本のご縁で協賛してくださることに。「経営者交流会」を過去3回共催し、延べ約50名の学生と経営者15名をお招きした
- イベントの前半はLifortune株式会社CEOであり、数多の転職支援をされてきた渋谷喜之様より学生に向けたキャリアセミナーをして頂き、後半は社長様方を交えた交流会を実施する形式
- 軽食を食べながらラフな形で経営者と学生が交流する機会は貴重であり、学生と経営者双方の満足度が非常に高いイベント
- 過去参加してくださった企業様(行政含む)は株式会社AIトラベル、株式会社マークス不動産、株式会社ケーエムケーワールド、宮崎県庁、株式会社フォーエス、みらい株式会社、株式会社フロンティアコンサルティング、澤田インベストメント株式会社、増井葬儀社、株式会社キャリア・マム(順不同)

②過去の経営者交流会の様子







©WASEDA CAREER SOCIETY ALL RIGHTS RESERVED

3.株式会社ユーザベース

キャリアイベントの共催

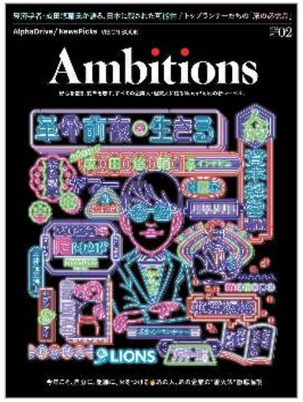
協賛の経緯、協賛内容

- AlphaDrive/NewsPicksで長期インターンをしていた会員のご縁で、**キャリア研究会と共同で雑誌Ambitions Vol.2の出版記念キャリアイベントを共催**
- 23年1月31日、丸の内ユーザベースオフィスにて三井住友海上より藤田健司氏を、V HoldingsよりCEOの山本未奈子氏をお招きして、「ビジネスで社会課題を解決する」をテーマにパネルディスカッションと参加者交流会を実施

イベントの様子



Ambitions Vol.2



4.株式会社リソー教育

協賛関係の構築

協賛の経緯、協賛内容

- 他学生団体に所属している会員の紹介で、**リソー教育様と協賛関係を結ぶ**
- 現在、首都圏を中心に展開されている個別指導塾「TOMAS」で講師として働く早稲田大学の学生を募集されており、キャリア研究会は協賛団体としてその宣伝にご協力するという内容
- 具体的には、バイト募集のチラシ配布やキャリア研究会ホームページでの宣伝を実施予定

TOMAS求人情報



TOMAS求人サイト

©WASEDA CAREER SOCIETY ALL RIGHTS RESERVED

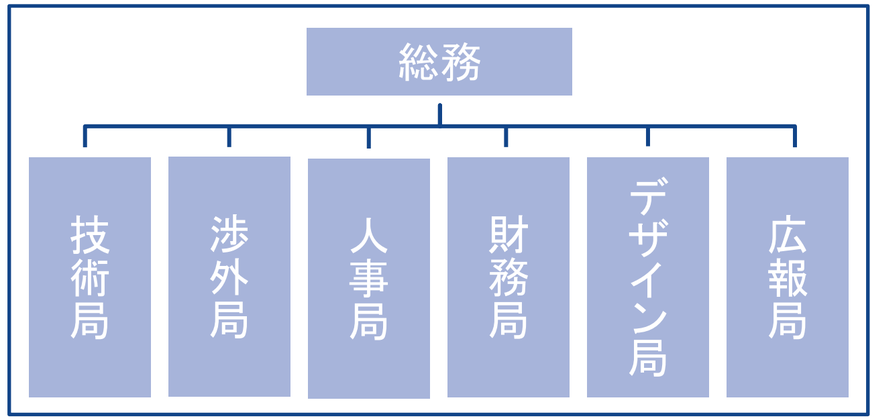
4.3 進捗

次年度は局制度の再構築と、協賛の拡大を図りたい

局制度

立ち上げの比較的初期の3月段階で、「局制度」を立ち上げた。団体の運営を分散化し、業務の透明化を図る目的であったが、夏過ぎには機能不全となり、総務が個別で対応する形になっていた。
瓦解の理由は第一に、団体規模が小さいために業務量がまだまだ少なく、タスクが生じても時期的な集中があったため局制度のような継続的に運営に関わる組織を運営することが困難であったためである。第二に、団体規模が局員をアサインできるほどの大きさではなく、会員の帰属意識もまだまだ低かったためである。以上の二点を総務が見誤った結果、局制度は瓦解した。次期以降は、団体規模や企業との繋がりを増やしていくことを計画している。するとキャリ研に関わるタスクの全体量が増加し、時期的な集中も軽減されるために局制度のような運営形態が上手く機能するのではないかと考えている。

旧組織図



協賛拡大

キャリア研究会は早稲田の中でも群を抜いて企業との接点を持つサークルである。一方で、キャリアの選択肢を増やすという理念に立ち返ればまだまだ企業との繋がりは多様化させていくべきである。そのために、協賛関係の企業を増やしていく必要があると考えている。次期は第一期で関わらせて頂いたマイナビ様、Lifortune様、Uzabase様、リソー教育様との更なる関係の深化とともに、新たな協賛企業の獲得にも積極的に取り組んでいく

前期は、旧総務による属人的な渉外が多かった。これは立ち上げ初期の団体のため企業との接点が個人ベースで始まることが多かったためであるが、以降は渉外局を中心とした組織的な渉外を行っていく

総務引継ぎ会における渉外研修の様子



©WASEDA CAREER SOCIETY ALL RIGHTS RESERVED

5. 次期総務



早稲田キャリア研究会
Waseda Career Society

5.1 次期代表ご挨拶

はじめまして。
早稲田キャリア研究会2代目代表に就任いたしました、早稲田大学政治経済学部3年の井村駿介と申します。新総務5名を代表して、挨拶をさせて頂きます。
昨年度はキャリア研究会創立の年であり、何もかもが初めての怒涛の年となりました。春学期には、新歓活動で苦心しながらも創立メンバーを勧誘し、また通常活動として4つの講座を実施しました。夏季休暇にはジョブを含めたキャリ研らしい夏合宿を行ったり、サークル初の試みとしてマイナビTVに代表者が出演いたしました。秋学期には参加メンバーのガクチカとなることを目指したプロジェクト型講座を開講し、また初めてLifortune様と協働した経営者交流会が実現しました。そして、春期休暇ではユーザーベース様との共同イベントや、大学のサークルらしくスキースノボ合宿を実施することができました。
振り返ると昨年度は、実りの多い年ではありましたが、次年度への課題が散見された年でもありました。初年度にして年間で40名以上の会員を獲得したことや、夏合宿・冬合宿を実施できたこと、会員に大好評の特別講座を複数回実施できたことは素晴らしい功績だと思います。しかしながら、運営の根幹である局制度が上手に機能せず、運営が総務3名による属人的なものになってしまったこと、スケジュールのミスや、メンバーのモチベーション管理に失敗した結果としてプロジェクト型講座が頓挫してしまったことは、創立の勢いを利用して我武者羅に走り続けた結果生じた歪みと言えるでしょう。
　そのため、今年度は昨年度の勢いを引き継ぎ、弊団体の掲げる「学生が納得したキャリアを選ぶために、キャリアの選択肢を増やす」というミッションの下、意欲的に新たな取り組みを実施すると共に、昨年度に生じた歪みを正し、キャリ研をこの先何十年も続いていく基盤を固めることが、我々次期総務の果たすべき役割であると認識しています。
　キャリ研の会員のため、協賛して下さる企業様のため、そしてキャリ研の未来のために、総務一同全力で挑戦します。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

早稲田キャリア研究会　第二期代表
井村駿介



©WASEDA CAREER SOCIETY ALL RIGHTS RESERVED

5.1 総務プロフィール



代表

井村駿介

政治経済学部経済学科、新三年生。180 Degrees Consulting Japan(世界中に支部を持つ、NPO法人に対して無償でコンサルティングサービスを提供する学生団体)に22年春から所属。春季では環境問題を題材にしたゲームアプリデザインにコンサルタントとして携わり、秋季では無国籍者に関する認知拡大プロジェクトのチームマネージャーを務めた。23年度より、運営メンバーとしてコンサルタントの採用及び育成へ従事予定。また、早稲田折り紙サークルW.O.L.F.(年に1度展示会を開催する、早稲田大学の折り紙サークル)の代表も務めており、テレビ朝日系列のドラマで小道具作成を担当した経験もある



副代表

石川明日翔

政治経済学部政治学科、新三年生。 現役時有名国立大学に進学するも、満足することができずに大学に通いながら再受験をするという特異な経験を持つ。その経験を活かし、大学1年次に友人とオンライン個別指導塾を立ち上げ、1年目から100人以上(講習受講生含む)の生徒を集めた。現在も運営に携わり、主に集客とカリキュラム作りを担当。並行して、ファッションテック企業で長期インターンに従事し、マーケティングや企画を行う。現在は3年秋からの交換留学に向け、英語やドイツ語の勉強中



会計

小暮洋輝

政治経済学部経済学科、新三年生。 入学時より会計方面の学習に勤しみ、簿記2級を取得。その知識を活かし、長期インターンでは、ファクタリング(売掛金早期現金化サービス)を手掛ける企業の審査部にて与信管理に従事。目下はTOEICや英検といった語学資格対策に勤しむ。23年度春より、キャリア研究会会計として、サークル講座の入出金や財務計画の策定に従事

©WASEDA CAREER SOCIETY ALL RIGHTS RESERVED

5.1 総務プロフィール



副代表代理

藤嶋大暉

政治経済学部国際政治経済学科、新二年。キャリアの選択肢を広げるため、簿記やFPなどの資格の勉強中。また、早稲田大学フラッシュモ部に所属し、依頼者様だけでなくその場に居合わせた人全員を感動させるため、日々ダンスの練習や制作物の制作に励む。新総務副代表代理、渉外局長として、キャリ研を支える。



副代表代理

郡司遼太郎

基幹理工学部機械科学・航空宇宙学科、新二年。キャリ研以外にも教育系のアルバイトや運動系サークルなど様々なコミュニティに所属している。多様な考えを持った人との交流を通してキャリア模索中。副代表代理として活動する。

©WASEDA CAREER SOCIETY ALL RIGHTS RESERVED

6. 次年度目標



6.1 大目標

23年度の大目標として以下を設定



©WASEDA CAREER SOCIETY ALL RIGHTS RESERVED

6.2 成果目標

23年度の具体的な成果目標として以下の定量的な目標を設定

❶講座満足度4以上

春学期に実施する講座の、会員からの実施後アンケートで満足度平均4以上を目指す

❷会員数100名以上

合計会員数100名以上を目指し、キャリア研究会の活動の周知や更なる質の向上を行う

❸イベント参加者常時50名以上

企業との共同イベントを行う際、常に50名以上の参加が集まるよう、会員数や外部からの応募を増やす工夫をしていく

©WASEDA CAREER SOCIETY ALL RIGHTS RESERVED

6.3 バリュー

23年度の活動において大切にしていきたいことや望ましい姿を言語化し、定義

✓ 新しく出会う全ての人を大切にしよう

- 経営者交流会や団体内部のイベントなどの機会を最大限活かすために、積極的に交流していこう

✓ 変化を恐れず、推進力を維持しよう

- 学ぶ姿勢を忘れず、改善点や改良点を進んで取り入れていく。昨年度の成長速度に決して劣らない

✓ どんなことも積極的に共有し、また相手の発言を尊重しよう

- 対等なキャリア研究会の一員として、新しい価値観を否定せず、自分なりに解釈しよう

✓ 皆で成長できる環境を大切にしよう

- 会員の「やりたい」を支え、成長したい人が成長できる環境にする。それが団体の成長にもつながる

©WASEDA CAREER SOCIETY ALL RIGHTS RESERVED

7. 今後の取り組み



春学期の講座で身につけたスキルを秋学期のプロジェクト型講座で活かす

春学期講座

継続
①ビジネスケース講座
全5回
コンサルファームや商社の選考過程で課されるビジネスケース面接(ケース・フェルミ)への対策講座。座学(解き方の解説)とディスカッション(過去問)を中心に進行。昨年度よりも1,2年生向けに易しい内容に変更。担当:井村

継続
②財務諸表講座
全5回
企業の安全度合いや事業戦略などが見えてくる決算書の読み方を学ぶ講座。簿記・会計の知識が0の初学者でも分かりやすいように、実例を混ぜながら解説。講座は講義形式が主だが、ワーク、ディスカッションを織り交ぜる予定。担当:小暮

継続
③業界分析講座
全6回
就職活動に必須な業界分析を行う講座。今年度はインターン生や業界内定者に話を聞く機会を設けており、自分の思い描くキャリアに最適な業界を見つけることを目指す。講座は講義形式が主だが、クイズやディスカッションも予定。担当:藤嶋・郡司

NEW!
④ビジネスマナー講座
全2回
社会人として必須のビジネスマナーを学ぶ、初開講の講座。会員は就活や企業への渉外、経営者交流会など社会人と交流する機会が多いため、実際の場面で失礼のないよう、実践を交えて学んでいく予定。担当:石川

秋学期講座

秋学期の講座では、企業とタッグを組んで各業界のジョブを体験する実践形式の1Dayインターンシップを現在企画中。実現可能性の観点から本年度は1Dayでの開催を検討しているものの、将来的なベンチマーク先として「アナザージャパン」が存在。インプットに対する学生のアウトプットが机上の空論になりがちという問題意識から、実際にビジネスに挑戦するこのような取り組みを弊団体でも取り入れたい。
【参考】アナザージャパンは、三菱地所と中川政七商店の支援のもと、学生主体で立ち上げられた地域産品セレクトショップ。最大の特徴は店舗スタッフ18名が各地域出身の学生である点。学生をセトラー(開拓者)と名づけ、経営・企画展運営・店舗運営・プロモーション・接客販売というショップ経営の一連を担う。

(参考)学生主体で企画から販売までを担う「アナザージャパン」





出典:株式会社中川政七商店プレス他

©WASEDA CAREER SOCIETY ALL RIGHTS RESERVED

7.2 局制度

運営基盤の強化のため、局制度を再構築し、機能別組織を形成

1.局制度概要

総務への業務集中が規模拡大に伴って加速することが想像されるため、昨年度機能不全となった局制度を本年度より再編成する。通年で総務の下に学生対応局、渉外局、講座編成局、イベント局、広報局を設置し、それぞれに局長の役職を設ける。ただし、23年度春学期は総務が局長を兼任し、秋学期以降に春学期の局員より局長を選任する。

2.局の活動と連携

各局は週に一度、局会を開き、情報共有や必要なタスクの割り振りを局員の間で行う。さらに総務と局長は月に一度、局長会議を開催し、団体全体のタスクの割り振りや進捗確認などをして各局で連携。これにより、縦割りである局に横串がささり、全体と個が有機的に機能する。

3.局制度を再構築する副次的な利点

1.団体に能動的に関わることができるため、帰属意識を向上できる
2.総務以外の会員が局で活動することで団体活動の透明性を向上できる
3.局に権限委譲することで、主体的にスキルやガクチカを獲得する場を提供できる
4.局ごとに分業することで各自の比較優位があるタスクに専念でき、効率化できる

4.委員会制度

短中期で集中的に発生する業務は委員会を別途設立する。業務内容について、総務及び各局と連携するが、独立して運営。後述するCVMの企画や年次報告書の作成などを想定しているが、必要に応じて追加で設置する。



©WASEDA CAREER SOCIETY ALL RIGHTS RESERVED

7.2 局制度

各局の業務内容

組織名	組織目的	主な業務内容
①総務	団体全体の視点で俯瞰しながら、必要なタスクを分配・管理する	・Googleドライブ管理、整理 ・タスク進捗の管理 ・大学との連携 ・(必要な場合)打ち合わせへの出席 ・OB,OG組織への活動報告
②学生対応局	団体内部の組織管理や新歓活動の統括を行う	・新歓活動統括 ・入会案内 ・プロフィール帳作成 ・公式LINE運用
③渉外局	企業や他の学生団体との関係構築や交渉を行う	・イベント局、講座編成局から持ち込まれた企画について企業と交渉 ・企業から受けた依頼を選別し各局に共有
④講座編成局	会員に対し質の良い講座を提供する	・【春季】開講する講座を決定、準備し、実施 ・【秋季】協働可能な企業の案を出し、内容の仮案を提出 ・【秋季】企業との打ち合わせに出席し内容決め
⑤イベント局	団体の内外で開催するイベントの企画	・公式イベント企画 ・早稲田祭イベント企画 ・その他イベント企画 ・協賛企業との特別企画の立案
⑥広報局	団体の認知度向上とブランディングを行う	・Instagram,Twitter運用 ・HP情報の更新 ・ブログ記事の制作、管理

©WASEDA CAREER SOCIETY ALL RIGHTS RESERVED

7.3 CVM in Tokyo構想

大学1、2年生に向けたキャリアイベント「Career Vision Meetup(CVM) in Tokyo」を開催予定



CVM in Tokyo実行委員長
早稲田大学 基幹理工学部 1年
郡司遼太郎

仮案

企画概要

- 主に早慶上理以上の大学1、2年生を対象に、1Dayインターンシップを行うイベントを6月を初回として月に一度の頻度で継続開催する
- AlphaDrive/NewsPicks様の協力を頂きながら、イベントの企画やSNSでの発信を進めていく
- 当日は各企業のオフィスにて説明会やワークショップ、キャリアについてのディスカッション等を行う

企画意図

23年1月、早稲田キャリア研究会はAlphaDrive/NewsPicks様と共同でキャリアイベントを主催しました。イベントでは、ビジネスの力で社会問題の解決に取り組む二人のビジネスパーソンに学生が質問する形式のパネルディスカッションが行われました。トークセッションでも多くの学びを得られたのですが、出演者を交えたイベント終了後の座談会の方が私にはより印象に残っています。自分の将来やキャリア観について話す中で、自分を含めた1、2年生がこうした話題を社会人や他の学生に相談する機会が圧倒的に少ないことを認識させられました。これは1、2年生から就活を始める学生数が少なく、彼らに向けたキャリアイベントの数が少ないためです。しかし、3年生になって慌てて就活を始めることが最適ではないでしょう。2年間をかけてじっくりと自分のキャリアについて考える時間があれば、世間に流されることなくキャリアの選択肢を広く持った状態で就活に挑むことが可能になります。就活が「それぞれが考える理想のキャリアを追い求める」という楽しい体験に変わるキッカケを創り出したいという思いから、キャリアビジョンミートアップを企画しました。

©WASEDA CAREER SOCIETY ALL RIGHTS RESERVED

早稲田キャリア研究会活動報告書

8. その他



早稲田キャリア研究会
Waseda Career Society

8.1 会計報告

会費の使途を明瞭にするため収支報告書を作成、監査を実施

報告期間：令和4年2月17日～令和5年3月31日

収入の部	科目	摘要	金額
	会費		178,000
	合計		178,000

支出の部	科目	摘要	金額
	通信費	Zoom,Slack,Canva	46,320
	広告宣伝費	Wix,宣材写真撮影費用	28,810
	消耗品費	名刺費用	14,863
	交通費	夏合宿レンタカー,高速代	40,624
	事務用品費	印刷費,名札代	6,130
	次期繰越	口座残高	41,253
	合計		178,000

上記の通り、令和4年度の会計報告を致します

日付：令和5年4月11日　会計担当　金本晃司朗

監査の結果、上記の会計報告につき問題のないことを報告致します

日付：令和5年4月12日　会計監査担当 青木悠真

©WASEDA CAREER SOCIETY ALL RIGHTS RESERVED

8.2 会員インタビュー



江袋 有葵

早稲田政治経済学部

経済学科3年

Q1. 早稲田キャリア研究会に入った理由とは？

私は将来後悔しない大学生活を送りたかったため、このサークルに入会しました。具体的には、サークル活動を通して起業や長期インターンシップなど学生時代から出来るキャリア形成手段を学び、その上で自分が歩みたいキャリアを選んだ方が将来後悔しないと考えました。最終的に私は一般就職の道を選びましたが、卒業後も自身の経験を伝えることで後輩のキャリア選択に貢献したいと思っています。

Q2. 早稲田キャリア研究会の活動をどのようなものですか？

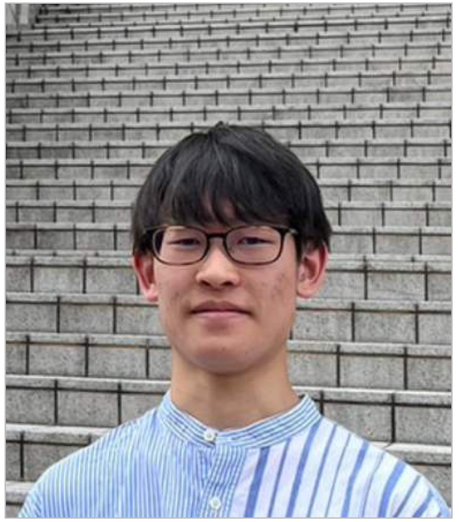
主な活動は週に一度の持ち回り講座で、内容はベンチャー企業や最新テクノロジーに関するものや財務諸表の読み方を学ぶものなどとても幅広いです。それに加え希望者のみ参加出来るイベントもあり、こちらではベンチャー企業の社長様と実際に会ってお話が伺えるという貴重な経験が出来ます。このように真面目な活動も多いのですが、長期休暇中は合宿に行くなど大学生らしい活動もたくさん行っているため、どなたでも入って損の無いサークルだと個人的に思っています。

Q3. 早稲田キャリア研究会に入る前と後でご自身にどのような変化がありましたか？

私の周りに一般就職する友人が多かったこともあり、入会前は起業することやベンチャー企業で長期インターンシップをすることなどに対する知識が全くありませんでした。しかし、入会後はサークル主催のイベント等を通して理解が深まり、今では大学生の内から将来のキャリア形成に向け多くのことに挑戦することはとても大切だと考えるようになりました。

©WASEDA CAREER SOCIETY ALL RIGHTS RESERVED

8.2 会員インタビュー



本庄 朝英

早稲田政治経済学部

経済学科1年

Q1. 早稲田キャリア研究会に入った理由とは？

私は将来の選択肢の1つである就職についての知識を得るためにこのサークルに入会しました。地方出身ということもあり、東京でのいわゆる就活がどのようなものか全くの無学でした。そのためこのサークルでの活動を通して広がる見聞は私の将来設計に大きな影響を及ぼしてくれています。最終的にどうするかは決めかねているのですが、そのように選択肢を広げることができるのもサークルでの活動あってこそなのでとても感謝しています。

Q2. 早稲田キャリア研究会の活動をどのようなものですか？

基本的には週1回の講座です。内容はフェルミ推定や簿記、業種分析など多岐に渡り、飽きることがないです。資料も大変わかりやすく、見返すにもよいです。そして、私が1番魅力的だと感じているのは、企業の社長や取締役の方と実際にお話しできる機会が不定期で設けられていることです。実行に移すのは自分だけの力だと厳しいところがあるので、サークルの活動としてこのような経験ができるのはキャリ研ならではだと思います。私が実際に参加してみて、イメージと異なるところがたくさんあったので、生身で感じるということは非常にいい経験だと感じました。

Q3. 早稲田キャリア研究会に入る前と後でご自身にどのような変化がありましたか？

就職についての講座やセミナーを通して、何を軸に自分の就職先を決めればいいのか定まってきました。また、就職以外の選択肢がたくさんあることも知れたので、就活だけに囚われないような価値観も形成されてきたと感じています。

©WASEDA CAREER SOCIETY ALL RIGHTS RESERVED

8.3 会員名簿

氏名	学部	学年
青木悠真	政治経済学部	3
林詩音	政治経済学部	3
金本晃司朗	政治経済学部	3
土屋純	政治経済学部	3
江袋有葵	政治経済学部	3
日野真幸	政治経済学部	3
上保理人	政治経済学部	3
任叡	政治経済学部	3
徳山千紘	政治経済学部	3
高浦明香	政治経済学部	3
植竹鈴奈	政治経済学部	3
赤城正隼	法学部	3
金子達哉	法学部	3
横山颯	法学部	3

氏名	学部	学年
鈴木悠央	社会科学部	3
野口乃愛	文化構想学部	3
キム・ミンヨン	国際教養学部	3
ヒダヤット・ジハン・アルサ	基幹理工学部	3
井村駿介	政治経済学部	2
石川明日翔	政治経済学部	2
小暮洋輝	政治経済学部	2
伊藤雅人	政治経済学部	2
石井日南乃	政治経済学部	2
丸山晴夏	政治経済学部	2
鈴木宏明	政治経済学部	2
市川優仁	政治経済学部	2
來海百花	政治経済学部	2
乗物卓杜	商学部	2

氏名	学部	学年
吉田磨生	文学部	2
後藤隼	人間科学部	2
中條穣	人間科学部	2
藤嶋大暉	政治経済学部	1
本庄朝英	政治経済学部	1
須藤里渚	政治経済学部	1
山本裕一	政治経済学部	1
佐野木璃里	政治経済学部	1
難波・ジョア・賢三	法学部	1
松尾ゆき	商学部	1
増井正樹	商学部	1
林恵南	国際教養学部	1
郡司遼太郎	基幹理工学部	1
近藤量太	教育学部	1

©WASEDA CAREER SOCIETY ALL RIGHTS RESERVED

9. 後援・協賛・賛助・協力



早稲田キャリア研究会
Waseda Career Society

後援・協賛・賛助・協力

株式会社マイナビ様

Lifortune株式会社様

株式会社ユーザベース様

東証プライム（サービス：4714）

株式会社リソー教育様

早稲田キャリア研究会の活動へ多大なるご尽力を賜りましたこと、厚く御礼申し上げます

©WASEDA CAREER SOCIETY ALL RIGHTS RESERVED

早稲田キャリア研究会
第一期活動報告書

発行日　2023年4月13日
編集長　林詩音
編集　石川明日翔 藤嶋大暉

発行　早稲田キャリア研究会 総務
〒169-8050
東京都新宿区西早稲田1-6-1